

計画改定の基本的な考え方

「米沢市雪対策総合計画」の計画期間は、平成30年度から令和9年度までの10年間ですが、
Ⅰ.過去5年間の施策の実施状況
Ⅱ.社会情勢や冬季環境の変化
Ⅲ.市民アンケートの結果（令和5年2月実施）
を踏まえて計画改定（中間見直し）を行います。

I 過去5年間の施策の実施状況

Ⅰ 雪に強く住みよいまちづくりの推進	3 市民協働による雪処理の体制づくり
Ⅰ-Ⅰ 効率的な除排雪の推進	3-Ⅰ 地域除排雪体制の充実
・委託業者ごとに点在する除雪路線を集約化	・除排雪協力会の組織化
・生活として機能していない除雪路線の廃止	・除雪モニター制度
・除雪指定路線の見直し	・地域の支え合いによる除排雪事業の本格運用
・GPS導入に向けた積算方法の見直し	3-2 雪処理の担い手の確保
Ⅰ-2 雪処理施設の確保	・除雪従事功労者の表彰
・流雪溝の計画的な整備	
Ⅰ-3 雪害防止対策の充実	4 豪雪時・豪雪災害時における対策の充実
・関係機関と連携し油流失事故防止対策の実施	4-Ⅰ 豪雪時・豪雪災害時の体制と対応の充実
・管理不全空き家所有者に対する適正管理の呼びかけと指導	・雪処理マニュアルの充実・更新
Ⅰ-4 安全な道路交通の確保	5 親雪・利雪・学雪の推進
・排雪を受け入れるための雪捨て場の確保	5-Ⅰ 雪を利用した観光振興
・地区に対する雪押場の必要性のPR	・上杉雪灯籠まつりの開催
・町内会等が実施する私道除雪費用の一部助成	・米沢の冬の魅力を伝えるため台湾での展示会の開催
・除排雪協力会が実施する排雪費用の一部助成	・米沢エリアスキー場協議会との連携による誘客キャンペーン
Ⅰ-5 安全な雪下ろし作業及び除雪作業の普及促進	5-2 雪氷熱エネルギー等の調査研究
・安全な雪下ろしと除雪作業方法を広報等により周知	・取組状況なし
・出前講座で安全な雪処理方法の説明	5-3 雪に親しむ教育活動の推進
・除雪業者リストの作成・周知	・副読本「わたしたちの米沢」による学習
2 高齢者・障がい者などが冬期間安心して生活できる体制づくり	・小中学生の雪まつりへの参加の呼びかけ
2-Ⅰ 高齢者・障がい者の支援の充実	5-4 雪に親しむ地域活動の推進
・除雪援助員の派遣	・コミセン事業に対する支援
・雪下ろし費用の一部助成	5-5 雪国文化の継承・発信
・住宅前への押し雪の軽減	・雪菜料理コンテストの開催
・必要なサービスを受けられるよう民生委員、児童委員との連携	
2-2 健康づくりの推進	
・介護予防教室の開催、いきいき100歳体操（住民主体の通いの場）の実施	

計画改定にあたって

○市民アンケート等の結果を踏まえ、主な施策について、以下の視点で見直しを行います。
【見直しの視点】
・道路等の効率的な除排雪の推進
・高齢者や障がい者などへの支援の充実
・除排雪支援の効果的な情報発信
・雪に強い地域づくり
○国で創設された『豪雪地帯安全確保緊急対策交付金』の活用を検討します。
○見直しにあたっては、新たにSDGs（持続可能な開発目標）の達成を意識したものとします。



Ⅱ 社会情勢や冬季環境の変化

○少子高齢化、人口減少、核家族化、過疎化、快適な冬季環境に対する住民ニーズの高まりが、計画策定時より進行して います。H27とR2を比較すると、0～64歳は減少していますが、65歳以上は増加しています。
○近年は短時間での降雪量が多く、令和4年1月には山形新幹線が大沢－関根間で立ち往生するなど、記録的な大雪に見舞われる機会が増える傾向にあります。

年齢別人口の比較						
	昭和55年度	平成27年度	令和2年度	増減		
				S55とH27 比較①	S55とR2 比較②	②－①
0～14歳	19,915人	10,561人	8,881人	△ 9,354人	△ 11,034人	△ 1,680人
15～64歳	62,817人	50,637人	46,225人	△ 12,180人	△ 16,592人	△ 4,412人
65歳以上	10,091人 (11%)	24,322人 (28%)	25,259人 (31%)	14,231人	15,168人	937人
総数	92,823人	85,520人	80,365人	△ 7,303人	△ 12,458人	△ 5,155人
高齢者世帯の比較						
	平成2年度	平成27年度	令和2年度	増減		
				H2とH27 比較①	H2とR2 比較②	②－①
単身高齢者世帯	960世帯	2,976世帯	3,300世帯	2,016世帯	2,340世帯	324世帯
高齢者のみ世帯	1,757世帯	5,453世帯	6,174世帯	3,696世帯	4,417世帯	721世帯

出典：国勢調査

Ⅲ 市民アンケートの結果の概要（令和5年2月実施）

A.『冬期間において不安に思ったり問題だと感じたりすることについて』
「交差点などの見通しが悪い」、「道路除雪が悪く車が走りにくい」という回答が多く、次いで、「押雪の処理が大変」という回答が多い状況で、年齢が上がるほど、不安に思ったり問題だと感じたりする割合が高くなる傾向がみられます。
B.『道路等の除排雪について』
道路、歩道共に「満足していない」という割合が高くなっています。
C.『除排雪に関する満足度を高めるために優先すべきことについて』
「道路のデコボコやわだちの解消」、「道路幅の確保」、「見通しの確保」といった路面等への対策や、「押雪の軽減」を優先的に取り組むべきという声が多くなっています。
⇒A～Cは、いずれも道路除雪や押し雪に対しての満足度が低い結果となっているため、大雪時の集中的な除排雪やより効率的な除排雪の推進のほか、除雪オペレーター操作の技術向上、押し雪の軽減を図る必要があります。
D.『家庭における雪処理の状況について』
除雪、雪下ろし共に、「自分又は同居の家族」で行っているという状況にあり、これは高齢者のみの世帯でも変わらない状況となっています。
⇒今後、高齢者世帯の増加が見込まれるため、自力で除雪することが困難な方への支援を充実していく必要があります。
E.『本市が行っている雪に関する制度について』
高齢者対象の助成事業の認知度は高い傾向でしたが、実際に利用したことのある割合が少なく、「利用できる方が限られている」「手続きが面倒」との意見が見受けられました。
町内会や除排雪協力会などを対象とした制度の認知度はあまり高くない傾向でした。
特に重点を置くべき制度の設問では、「高齢者等除雪援助員派遣事業」と「高齢者等雪下ろし助成事業」の2つが他の項目より高い結果となりました。
⇒助成制度の要件緩和や手続きの簡素化、各種制度の効果的な周知、高齢者等に対するの制度を充実していく必要があります。
F.『地域での除排雪活動について』
「住民同士で除排雪に関する課題を話し合う機会がない」「住民同士での除排雪活動にこれまでに行ったことはない」が6割を超えていて、「地域のコミュニケーション力を上げるような取組を行うことが必要」との意見が多い状況となっています。
⇒コミュニティ機能の向上を図りながら地域における共助意識の醸成に努めていく必要があります。
G.『これから取り組んでいくべきことについて』
世代を問わず「高齢者や障がい者などに対する支援体制の強化」が全体の6割近くを占め最も高く、次いで「雪に強い地域づくりへの支援」が5割近くを占めている状況となっています。
⇒各種支援制度の充実を図るとともに、市民・事業者・行政がそれぞれの役割分担のもと協働により雪対策に取り組んでいく必要があります。

基本方針	施策の柱立て	施策の方向性	主な取組（新規:網掛け、修正:※、削除:斜線）	取組内容の変更・新規・拡充
雪と向き合い、共に支えあいながら、安心して暮らせる雪に強いまち・米沢	1雪に強く住みよいまちづくりの推進	1 効率的な除排雪の推進	1 除排雪業務委託の全体的な見直し 2 ※除雪運行管理システムの導入検討推進 3 除雪計画の策定 4 関係機関との連携による除雪の推進	(変更) 除雪路線の見直しやシステム導入による委託内容の全体的な見直しを行います。 (拡充) 除雪車へGPS端末を搭載し、効率的な除排雪を推進します。 (継続) (変更) 山形県及び隣接する自治体と除雪業務の相互委託を行い、効率的な除雪を実施します。
		2 雪処理施設の確保	1 流雪溝の整備促進 2 米沢駅前融雪機器についての検討 3 コミセン等公共施設の無落雪化等の検討	(継続) (継続) (継続)
		3 雪害防止対策の充実	1 防雪柵、なだれ防止対策推進 2 地下水保全及び地盤沈下防止 3 油流出事故防止対策 4 空き家対策の推進 5 農業被害防止対策（農免道路除雪）	(継続) (継続) (継続) (継続) (継続)
		4 安全な道路交通の確保	1 雪捨場の確保 2 町内との連携による雪押場の設置 3 私道除雪への助成事業 4 除排雪協力会による排雪への助成事業 5 通学路の安全確保 6 効率的な除排雪に対応した道路環境の確保 7 公共交通の確保 8 大雪時の渋滞緩和	(継続) (拡充) 地域の公園や空き地等の雪押場としての活用を支援策も含めて検討します。 (継続) (継続) (継続) (継続) (変更) バス停の除雪や降雪時の遅延対策など、路線バス等の公共交通の安定した運行確保に努めます。 (新規) 大雪時における、主要道路の優先的除雪、公共交通の計画運休、時差出勤などについて検討します。
		5 安全な雪下ろし作業及び除雪作業の普及促進	1 安全な雪処理方法の周知 2 出前講座による安全な雪処理方法の説明 3 ※除雪業者雪下ろし業者等リストの作成・周知 4 除排雪支援の効果的な情報発信 5 雪下ろし作業の負担が少ない住宅の普及促進	(継続) (継続) (継続) (新規) 雪に対する市の支援等を取りまとめて周知します。 (新規) 克雪住宅への改修支援を継続するとともに、利用促進に向けたPRを実施します。
	2高齢者・障がい者などが冬期間安心して生活できる体制づくり	1 高齢者・障がい者などの支援の充実	1 除雪援助員の派遣 2 雪下ろし費用の助成 3 押雪軽減支援制度 4 民生委員・児童委員との連携 5 ふるさと応援寄附金制度の活用	(拡充) 除雪援助員派遣の支援を実情にあわせて見直します。 (拡充) 雪下ろし費用の助成を実情に合わせて見直します。また、一人親世帯の助成について検討します。 (拡充) 高齢者等雪下ろし助成事業の登録申請時に押し雪軽減希望の有無の確認を行います。 (継続)
		2 健康づくりの推進	6 介護予防事業	(削除) ふるさと応援寄附金の返礼品として雪処理作業に関するサービスを提供していましたが、除雪サービスについては降雪量と大きく関係があり、スピード感をもった対応を必要とするため返礼品としては需要がなく「ふるさと応援寄付金制度の活用」を削除します。 (継続)
	3市民協働による雪処理の体制づくり	1 地域除排雪体制の充実	1 除排雪協力会の組織化推進 2 除雪モニター制度 3 雪に関する情報提供 4 ※地域共助による除排雪体制の整備検討普及促進	(継続) (継続) (継続) (拡充) 住民同士の助け合いにより除排雪を行う体制づくりの促進を図ります。
		2 雪処理の担い手の確保	1 除雪ボランティア制度 2 オペレーター勉強会 3 除雪従事功労者表彰制度 4 除雪オペレーター育成支援 5 地域の支え合い意識の醸成	(変更) 米沢市社会福祉協議会が実施する除雪ボランティア事業について、現行制度の充実を図ります。また、除雪ボランティアの確保に向けて、市のSNSとの連携強化を進めます。 (拡充) 除雪技術を伝承するために、除雪機械の操作技能研修や安全運転の勉強会を実施します。 (継続) (新規) 除雪オペレーターの人材を確保するため、資格取得に係る費用の一部を市が補助します。 (新規) 雪処理における共助体制を充実するため、日ごろから地域における支え合いの意識醸成を図ります。
	4豪雪時・豪雪災害時における対策の充実	1 豪雪時・豪雪災害時の体制と対応の充実	1 豪雪対策本部の設置 2 雪害処理マニュアルの作成 3 小・中学校における積雪時避難経路の確保と避難訓練	(継続) (継続) (継続)
	5親雪・利雪・学雪の推進	1 雪を利用した観光振興	1 冬季イベントの開催 2 国内外への情報発信 3 冬のスポーツツーリズム推進 4 雪の魅力を活用した教育旅行の推進	(継続) (継続) (継続) (継続)
		2 雪氷熱エネルギー等の調査研究	1 ※地下水の揚水によらない熱等を利用した融雪システムの開発・普及普及促進 2 雪氷熱エネルギーに関する調査研究の推進	(変更) 限りある資源を有効活用するため、地下水熱等を利用した融雪システムの普及促進を図ります。 (継続)
		3 雪に親しむ教育活動の推進	1 副読本「わたしたちの米沢」による学習 2 小・中学生の雪まつりへの積極的な参加	(継続) (継続)
		4 雪に親しむ地域活動の推進	1 雪に親しむことをテーマとした交流活動支援 2 やまがた雪文化マイスター制度の活用	(継続) (継続)
		5 雪国文化の継承・発信	1 雪国ならではの食文化の発信	(継続)